

サカモトホースファミリー

設立の経緯とごあいさつ

長年、当牧場は、競走馬の生産を主とした牧場を経営しておりましたが、生産馬 ハリマブライトが競走馬生活を終え、引退馬協会の前身、千葉のイグレット軽種馬フォスターペアレントの会のフォスターホース(FH)となったことをきっかけに引退馬、すなわち競走馬生活を終えた後の馬の馬生との出会い、深く関わっていくこととなりました。

それ以前、私たちは、馬は経済動物と思うこととし、競走生活を終えたあとのことまではなかなか考えが及びませんでした。

しかし、ハリマブライトがフォスターホース(FH)となったことをきっかけに、多くの FP 会員の方々がハリマブライトのふるさとである当牧場を訪れ、牧場の馬たちとふれあい、お話をする機会が増えるにつれ、馬を競馬としてだけではなく、さらにその後の馬生も大切に思ってくださいる方が多くいる、ということを知り、引退馬や馬生について、深く考える機会を与えてくださいました。

その縁があり、マイネルスティングが牧場で生活することとなり、ビッグゴールドへとつながっていきました。

マイネルスティング、ビッグゴールドそして、この馬たちを支える多くの方々と接する中で、人は、馬に癒され、馬は、やさしい人々に接することで穏やかになり、時には馬自身が感謝の気持ちを表す、ということに気づきました。

今後、少しでも多くの馬たちの余生を見守り、皆様に応援し支えていただければ幸いと、この度サカモトホースファミリーを立ち上げました。まずは牧場最高齢の 31 歳のアンバーネックレス 1 頭からのスタートになりますが、今後は最後の出産子育てを終了したタケノハーモニーはじめ、当て馬を卒業した牧場のアイドルの道産子のモッヒーなど牧場の功労馬たちを順次会に迎え入れたいと思っています。

馬たちを中心に、家族のようにわいわいとできるアットホームな会を目指しております。どうぞよろしく願い申し上げます。

2016 年 1 月吉日

静内坂本牧場
坂本光春